

人と人がつながり、 『多脳交』を軸とした ものづくりハブ企業へ。



株式会社フジタは1961年、機械部品の旋盤加工会社として創業しました。

代表就任以来、創業者の信念を受け継ぎながら、

時代に合わせて変化することを大切にしています。

2010年からカイゼン活動を始め、2014年から工場見学をスタート。

2017年にはメタルアートを展示するミュージアムを開設しました。

時を経るごとに、多くの人を訪れ、新しい情報交流の場になっています。

新たな形から生まれた、新しいつながりを大切にしながら、

革新の道を突き進むには、良い人づくり、良い環境づくりが必要です。

常に自分の頭で考え、常に異業種との交流を持ち、常に技を磨き、

一人ひとりの能力が最大限に発揮できる環境づくりにも注力しています。

あらゆる業界が抱えるさまざまな問題を解決するとともに、

たくさんの笑顔と感動を創り出すために、

フジタにしかできない、ものづくりハブ企業を目指していきます。

会社概要

会社名 株式会社 フジタ
所在地 [本社工場] 〒939-0131 富山県高岡市福岡町荒屋敷522
 [第二工場] 〒939-0131 富山県高岡市福岡町荒屋敷525-9
代表取締役 梶川貴子
設立 1975年3月18日
資本金 1,500万円
取引銀行 富山銀行・高岡信用金庫・北陸銀行・北國銀行・商工中金
事業内容 アルミ鋳造型 設計・製作／鍛造金型 製作／プレス金型 設計・製作／ブロー成形金型 製作
 アルミ製品 削り出し加工／試作型及び各種治具製作
 FACTORY ART MUSEUM TOYAMA 企画運営

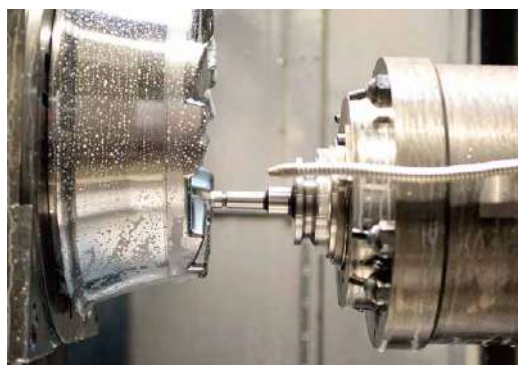


会社沿革

- 1961年 4月 高岡市横田町において藤田幸雄が藤田鉄工所を創業し機械部品の旋盤加工を開始
三協アルミとの取引開始、アルミサッシの抜型プレス金型の製造を開始
- 1975年 3月 株式会社藤田鉄工所として法人化、資本金500万円
- 1983年 4月 自動車部品分野に進出 / アルミホイール用鋳造金型の製作を開始
- 1989年12月 「株式会社フジタ」に社名を変更
- 1992年10月 ブロー成形金型製作へ着手
- 1993年 4月 OEM用のアルミホイール金型の製作を開始
- 1994年 7月 3次元CAD/CAMシステムを初導入
- 2000年 4月 海外向けOEMアルミホイール金型の製作を開始
- 2005年 5月 オークマ MILLAC 630H 横形マシニングセンターを導入
オークマ MILLAC 44V 高速回転マシニングセンターを導入
社内サーバーを立ち上げCADデータ・NCデータの一元管理化を実現
- 2010年11月 『富山県中小企業等省エネ設備導入促進モデル事業』採択
- 12月 ホームページ開設 Ver.1
『東京モーターショー2010』に協力出展
- 2011年 9月 OKK VM7 立形マシニングセンターを導入
Facebookページ 開設
- 2013年10月 『中小企業庁 経営革新支援事業』に採択される
- 2014年 3月 ISO9001 (品質) 認証取得(本社工場のみ) / 福岡金属工業団地内に第2工場を取得 /
ミットヨ製 CNC3次元測定機を導入 / 非接触レーザープローブ測定用の恒温室を設置
- 6月 『平成25年度ものづくり中小企業小規模事業者試験開発等支援補助金』に採択される
- 2015年 3月 三菱電機 ワイヤ放電加工機を追加導入
- 10月 1級技能検定 機械加工(マシニングセンター作業) 1名合格
- 11月 『平成27年度クリエイティブ産業振興事業助成金』採択される
『フジタ多脳工』人材育成強化 / Webサイトリニューアル
- 12月 『とやまベストビジネスアワード2015』特別賞を受賞
- 2016年 1月 テレビ東京 日経スペシャル ガイアの夜明け 第699回『崖っぷち町工場の逆襲』放映
『町工場にメタルアート作品が並ぶミュージアムを作りたい!』クラウドファンディングスタート
- 2月 北日本放送(KNB) 日経スペシャル ガイアの夜明け 第699回『崖っぷち町工場の逆襲』放映
- 12月 富山県経営革新事業に「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」が認定(二回目)
- 2017年 4月 「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」グランドオープン
- 7月 北日本放送「ネッツモノツクリのその先へ」で株式会社フジタが放映
- 2018年 2月 チューリップテレビ経済番組「直撃!とやま流ビジネス戦略」に紹介
- 8月 富山県中小企業診断協会 理論政策新研修講師「わが社の経営革新」にて講師を務める
- 10月 富山県産業観光ホームページ大賞「富山県商工会会長賞」を受賞
- 2019年 1月 立形マシニングセンター増設、OKK VM53Rを導入
- 2020年 1月 社内新聞「FUJITA&MUSEUM TIMES」の発行をスタート
- 2月 国立大学法人 長岡技術科学大学「SDGs講演会」にて講師を務める
- 4月 クラウドストレージサービス(Box)を導入
- 9月 VR工場見学サイトオープン
- 2021年 1月 Webカメラシステムを導入
- 3月 株式会社フジタ Youtubeチャンネルをリリース
- 9月 『HANAGATA』プロジェクトをリリース
- 10月 5軸加工機(DMGMORI製 DMU50)を導入
- 11月 ITコーディネータ協会より優秀賞を受賞
- 2022年 3月 株式会社レイズアドヴァンスをグループに加える
- 10月 第3回くだらないものグランプリにエントリー、「LOVE LOVEメリケンサック」でグランプリを獲得
- 11月 富山県立大学 ロボティクス学科にて講師を務める / 「Creative TAKAOKA Festival」に出展

事業内容

フジタは、樹脂製品を作る金型、アルミ製品を作る金型など、いろいろな素材の最終製品を作るための「金型」を作っている金型メーカーです。あえてプレス専用、鍛造専用というふうな1つの分野に特化せず、さまざまな分野に携わっていることが大きな特徴。創業者の「小さくてもオンリーワン」信念を受け継ぎ、多分野の技術力を磨き、常に新たな知識を吸収し、専門性を高めることで、幅広い業界からのニーズに対応しています。



精密なアルミ製品を量産する アルミ製品用鍛造金型

最終的にアルミ製品を作るための金型を設計・製造しています。金型のほとんどは金属に切削加工や旋盤加工、放電加工等を実施し各部品を組み上げて完成します。主に自動車用アルミホイールなどの鍛造金型を主力に製造しています。各メーカーとの付き合いは30年以上と長く、様々な困りごとや開発案件に直接対応できることがフジタの強みです。ご要望に応えることでお客様の課題解決のお役に立ちながら経験値を積み上げてきました。



革新的な機械構造 5軸加工機

5軸加工機は、X,Y,Zの3軸に2軸の回転傾斜軸が追加された機械です。1回の取り付けでより多くの加工ができるため、短納期が見込めるだけでなく、複雑な形状の加工や高精度な仕上がりを実現します。フジタでは、5軸加工機を駆使し、より早く、より正確に、より美しく金属を削りあげていきます。切削の自由度が高い機械であるため、お客様のニーズに応えるだけでなく、創造性豊かな製品をも生み出します。医療関連や宇宙関連など幅広い分野のニーズに対応しています。



1点ものにも対応 アルミ削り出し加工

金型製作で培われた切削加工データにより、自動車用アルミホイールや、各種試作品、およびデザイン性の高いアルミ製品の切削加工が得意です。主な顧客は自動車用アルミホイールのメーカーなど。コンセプトカーなどのワンオフ（1点もの）パーツの製作や、試験用や展示会用の小ロット製品にも柔軟に対応できます。



イメージ

試作開発に貢献する ブロー成形金型

化粧品・医薬品・食品分野などにおけるチューブなどを成形する樹脂用のブロー成形金型の制作を行っています。主な顧客は容器メーカーなど。顧客の試作開発において、柔軟かつ迅速にきめ細やかな対応を行うことで、新製品のスムーズな立ち上げに貢献しています。顧客の開発部門との課題解決にしっかりと寄り添うことで、ハイレベルな製品開発を可能にしています。

実績紹介

私たちは、常に新しいものづくりにチャレンジしています。すると、製造業のお客様だけでなく、あらゆる業界のお客様とのつながりが増えていきます。これまでに培った技を生かして遊び心や独創性に満ちた製品を完成。そうした製品や取り組みが多く注目を集め、新たな依頼や相談が増えるという好循環を生み出しています。私たちはこれからも人との縁を大切に、型にはまらないものづくりに挑み続けます。

HANAGATA

アルミホイールを模したチョコレートが出来上がる、美しい金型「HANAGATA」。ドイツ・ロンドン・ロサンゼルス、そしてアジアのデザインアワードを受賞。デザイナーの水野健一氏から「面白いものを一緒に産み出そう」とお声掛けいただいたのが開発のきっかけ、BBS JAPAN様の協力を得てチョコレートのデザインは同社の女性デザイナーが挑戦。世界的カメラマン北畠主税氏が撮影。四者によるコラボレーションは大きな話題となりました。



ホイール腹筋ローラー(17インチ)

2021年10月に開催された「第2回くだらないものグランプリ」で2位を受賞した作品。「炎」をイメージさせるデザインは、社員の情熱を表しています。約40時間の切削時間を費やし、フジタとくだらないものグランプリのロゴを切削するなど細部に至るまでこだわっています。総重量はなんと34.6kg。腹筋への効果も抜群です。



LOVE LOVE メリケンサック®

2022年10月に開催された「第3回くだらないものグランプリ」で優勝を獲得した作品。通常のメリケンサックのように武器として用いるものではありません。1人が右手の指、もう1人が左手の指にはめこむと、磁石の力で自然と手が引き合っ、気付けば恋人つなぎをしているというユーモアと愛に満ちた作品です。



意匠登録出願中

ザ・シューキーパーヘッド

オーダースーツ店を展開している「DEN planning」様からの「飾るシューキーパー」製作の依頼を受け、ヒノキ製シューキーパーの取っ手(ヘッド)を製作。スカルをモチーフに、アルミを5軸加工機で削り出しました。「マナブデザイン」様など、デザインコンセプトからミーティングを重ねた異業種の方々とのコラボレーションによる製品です。



LEON2023年2月号掲載商品



ファクトリーアートミュージアム

当社工場に隣接する「ファクトリーアートミュージアムトヤマ」は、メタルアート作品が並ぶギャラリー。その数々は、全国各地の町工場で働く製造業者やアーティストの方々から寄付、もしくは預かっているものです。このミュージアムを開設したきっかけは、中小企業の新製品開発に特化した禅とマインドフルネスを活用した講座「zenschool」との出会いでした。本人のやりたいことを内観から見つけ出し、新規事業の立案につなげるのが同講座の考え方です。その『禅問答』の末にたどり着いたのが、大好きなミュージアムを作ることだったのです。2017年の開設以来、「町工場にミュージアム」という珍しさが感度の高い人たちの好奇心を刺激し、徐々にアーティストやデザイナーの方々が訪れるように。今では情報発信や交流の場と化しています。また、学校の校外学習など一般の方々が、工業団地内に足を踏み入れる機会の創出にもつながっています。



主なイベント

zenschool



zenschoolを開講。この講座は、単に製品開発のノウハウを伝授するものではありません。自分の内に眠っている好奇心を見つけ出し、会社の資産と照らし合わせたくて新製品や新規事業を創造していくものです。

哲学カフェ



一般の人が参加できる講座です。zenschoolの1期生がコーディネーターを務め、「選挙とは何か」「戦争と平和」など様々なテーマで開催。時には外部講師を招き、テーマを深掘りするため、物事を深く考える習慣が身につきます。

トゥルーフォト トヤマ撮影会



一般の人が参加できる撮影会。会社のホームページに掲載する写真を通して、イメージアップを図りたいとお考えの方に好評です。その他、会社のパンフレットや名刺、SNSのアカウントなどに掲載する写真撮影も可能。真の自分を見つけてください。

未来への取り組み

未来のフジタを創るのは、今のフジタです。職場環境の改善からSDGsの取り組みまで社員一人ひとりが力を合わせながら活動を継続することが、当社の財産となり、社会貢献につながると信じています。



フジタのカイゼン活動 「カワルンゼ」

年に4回、全社員で1日かけてカイゼン活動を実施。3S活動をベースに、美しく効率的で安全な職場づくりを行っています。と同時に、社員一人ひとりが仕事を自分事として捉え、課題解決に何が必要なのかを考えるために、今年の数値目標や活動内容を発表する時間も設けています。



本気で遊ぶ くだらないものグランプリ

全国各地に、日本の産業を下支えしている町工場があります。「くだらないものグランプリ」は、町工場で働く人たちの優れた技術でユーモアのある一品を企画・製作・出品し、「くだらないもの日本一」を競うコンテスト。フジタは第1回から出場し、3回目で優勝を獲得しました。《『LOVELOVEメリケンサック』》



縁をつなぎ、可能性を広げる メタルアート

製造業のものづくりというカテゴリーを超え、可能性を広げるために、そして新たな価値観を生み出すために、ミュージアムでメタルアートを展示しています。ゆくゆくは、町工場にミュージアムが付随した形ではなく、ミュージアムの中に町工場があるという形を目指しています。



広い視野でデジタル活用 フジタのDX道

中小企業だからこそできるDXの取り組みを伝えるために、フジタ主催の「DXはじめの一步講座」を行っています。また、当社の日常や新たな挑戦を紹介するYouTube動画や、スマートフォンなどで楽しめるバーチャル工場見学など、デジタルを活用した積極的な発信にも力を注いでいます。



できることを着実に SDGsの取り組み

国籍や性別にとらわれず社員の平等を実現し、質の高い教育を提供しています。同時に、社員が常にチャレンジできる環境を提供。働きがいのある人間らしい仕事を推進しています。また、持続可能な消費と生産を構築するために、社会に求められる高品質な製品づくりにも力を注いでいます。

最新の取り組みは
こちらをチェック!

最新情報



公式YouTube

